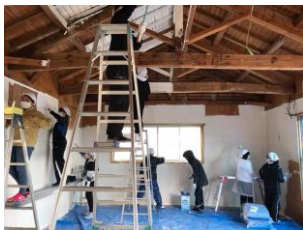


Pick Up News

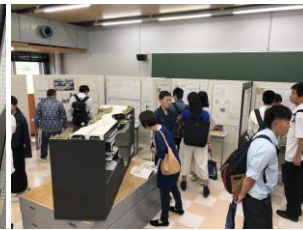
前期は残すところ2週間です。定期試験を終えると、長い夏期休業に入ります。その前に超えなければならない「山」は大きいことかと思いますが、それぞれ全力を尽くして、各科目の仕上げを行って下さい。1か半月ある夏期休業。皆さんはどのように過ごしますか? 日頃の疲れ、一人暮らしの疲れを実家で取り、のんびりすることもよいでしょう。仲間との旅行も貴重な経験です。アルバイトに精を出すこともできますね。インターンシップに参加し、自身の進路をじっくりと見据えることもしてもらいたいです。被災地に赴き、ボランティア活動に勤むこともできます。課外活動で頑張る人もいでしょう。前期の苦手科目の復習をしておくことも大切です。普段できないことができる大学生ならではの貴重な時間。思い出に残る、有意義な時間にして下さい。そして、元気な姿を9月に見せて下さい!



空き家再生プロジェクト進行中!



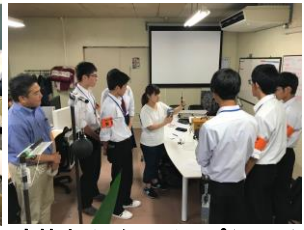
第一回オープンキャンパス(6/23) 第二回は7/21-22!



建築入門「マシュマロタワー」



高校生インターンシップ(7/4-6)



4年生 設計課題最終発表



サイエンスデイ(7/15)



3年生 設計課題中間発表



1年生 模型製作の演習



子ども向けのイベント(サイエンスデイなど)への参加、高校生インターンシップの受け入れ、学外での諸活動実践など、建築学科では「建築学」の魅力を伝える活動を積極的に行っています。

資格取得を後押し

東北工業大と総合資格

東北工業大工学部建築学科は、総合資格学院を運営する総合資格と共同で、同学科および同学院の卒業生の1・2級建築士資格取得までの体験談や現在の仕事内容などをインタビュー形式でまとめた冊子『建築士への道〜卒業生からのメッセージ〜』を発行した一写真。

冊子は同学科長を務める石井敏教授の発案で、総合資格の協力の基、資格取得意欲啓蒙ツールの1つとして作成した。仙台市出身の若手建築家・齋藤和哉氏(齋藤和哉建築設計事務所主宰)を始め、同学科のOB・OG約30人が勤務先や職種、仕事のやりがいなどを紹介。また、受験勉強の体験談や資格を取得して良かったと感じたエピソードなどを掲載しており、資格取得に望む学生への応援やアドバイスなどのメッセージも送っている。

気軽に持ち運びができるよう、A5のハンドブックサイズにまとめ、約3,000冊を発行。在学生やオープンキャンパスなどで高校生らに配布する予定だ。

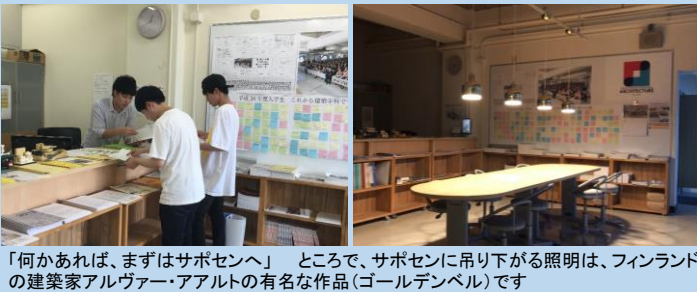
発行に当たり、石井学科長は「建築士を目指して入学した学生にとって、身近に感じられる卒業生のことを知ることで、資格取得や勉学に励むためのモチベーションの維持・向上につながるはずだ。資格取得はスタートラインであることも意識し、取得後の仕事のあり方を考えるきっかけにしてほしい」と話している。

「建築士への道」発行

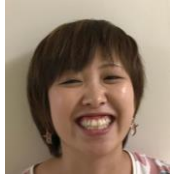
将来の建築士資格取得を意識してもらうために、資格取得を果たした卒業生による在学生への応援コメントを交えた「建築士への道」を発行。全学生に配付しています。この取り組みについて、建設通信新聞に掲載されました。(掲載承認取得済)

建築学科サポートセンター

は、学生の学習や生活を日常的に支援することを目的に設置されました。基本的には学習面と大学での生活面が中心ですが、物品の貸出から落とし物の連絡まで、どんな相談事にも対応します。学習面では、建築の幅広い分野に対応した複数のスタッフが学科教員と連携しながら不安を解消出来るようにサポートします。また生活面でも、個々の学生の特性を考慮しながら対応します。開設から10年以上が経過し、「何かあれば、まずはサポセンへ」という認識も定着したのではないかと思います。現在では、一日に10名から多い時で100名近くの学生が訪れます。



「何かあれば、まずはサポセンへ」 ところで、サポセンに吊り下がる照明は、フィンランドの建築家アルヴァー・アアルトの有名な作品(ゴールデンベル)です

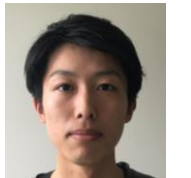


M11年 鈴木 杏南さん
石巻工業高校 出身

Pick Up Student

4月に大学院に入学し、3ヶ月が過ぎました。大学院では学部と比べ少人数での講義で、一人一人に求められるレベルは高くなり、内容もより専門的で難しいものになりました。しかし他の学生と異なる意見を共有できること、講義室の中だけでなく実際に街や施設に視察に出掛けることなど、まだまだ学べることが多く、より充実した日々を過ごすことができています。

また、私の大学院での目的の一つとして、2級建築士の資格取得があります。現在はそれに向けての学習に取り組んでいますが、その中では学部での知識が直接的に役立っていることを実感しています。大学院への志望動機は人それぞれですが、その目的に応じた時間の使い方をできる大学の良さだと思います。



3年 高橋 大都くん
湯沢高校 (秋田) 出身

Pick Up Student

私はものをつくることに興味があり、もっと学んでみたいと考えこの大学に進学しました。実際思っていた以上に課題や設計などに追われ挫けそうになることもありますが、自分が好きな事なのでやり遂げた後の達成感が得られます。また、友人達と過ごす中で、自分に無いもの、足りないもの、自分では気づかない所など多くの事が刺激になり自分自身が向上していくためのものが沢山吸収でき、日々感謝しています。長期休暇には、旅行に行ったり、インターンシップに参加したりと机の上では感じれない感動を体験をすることができました。もう折り返し地点なのでこれまで吸収したものを存分に生かし自分のやりたい事を突き詰め有意義なものにしたいです。